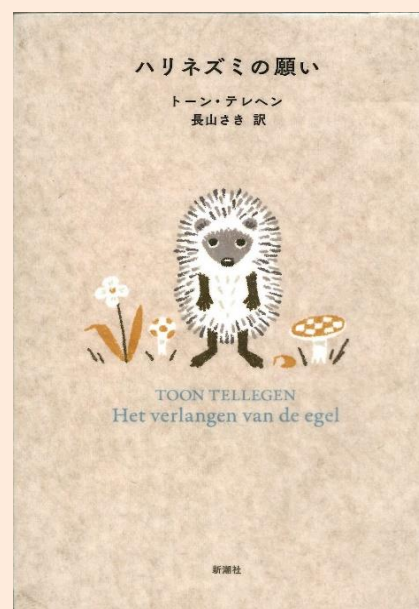


『ハリネズミの願い』 新潮社
トーン・テレヘン／著 長山 さき／訳

秋の終わり、独りぼっちのハリネズミは動物たちを家に招待しようと思い立ち、手紙を書き始める。自分の針がコンプレックスで臆病になり、なかなか完成せず、何度も読み返したり

「でも、だれも来なくてもだいじょうぶです」と付け足してみたり。そのうち、もしカミキリムシから手紙の返事が来たらどうなるか、サイが訪ねて来たらどうなるかと想像が止まらなくなり…。



数々の文学賞を受賞し、オランダで幅広い世代に愛読されている作家・詩人・医師である著者。一步踏みだすことができたハリネズミを愛おしく感じる、心温まるお話。